

▶ 巻頭 バトンを受けて 大崎 仁 4

特 集  
国民文化祭

国民文化祭の概要	5
てい談 国民文化祭を語る	三浦 朱門 6
	石井 歡
	倉橋 健
国民文化祭によせて／第一部	
日本文化に占める錦鯉	土屋 陽三郎 14
国民文化祭とコントラクトブリッジ	大内 淳義 15
文化の贈りもの	丸島 秀夫 16
日本文化を次世代に	山本 恭人 17
第1回国民文化祭主催事業日程・会場等	18
国民文化祭によせて／第二部	
甞れ地方の音楽よ	石丸 寛 19
民謡と私	春日 由三 20
生活文化の広がりを願う	小久保 茂昭 21
佐用の朝霧	頼田島一二郎 22
「国民文化祭」への期待	加藤 衛 23
資 料	24
国民文化祭開催要綱／国民文化祭実行委員会名簿	
国民文化祭企画委員会名簿／都道府県別出演団体	

▶ 名勝紹介シリーズ⑥ ◀

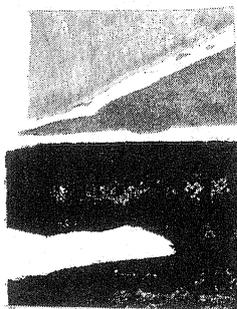
夢窓国師の庭 一天龍寺と西芳寺 26

ほうこく

第十回全国高等学校総合文化祭 28

—— 全国から大阪へ —— そして未来へ ——

- 文化庁行事報告及び予定……………30
- トピック／「日本美術名宝展」開催される……………30
- 人事異動……………30
- 国立劇場ニュース……………31



1986-10  
No.217

【表紙】

国民文化祭  
総合ポスター  
亀倉 雄策

題字デザイン・桑山弥三郎  
カット・林美紀子

▽ 巻頭

# バトンを受けて

文化庁長官

大崎 仁



文化庁に新風を吹きこまれた三浦朱門長官の後を受けて、九月一日に文化庁長官を拝命いたしました。

観覧席で三浦長官の快走ぶりに拍手と声援を送っていたら、いきなりトラックに引っぱり出されてバトンを握らされたというのが、偽らざる実感です。バトンを受けとった以上はともかくかけ出さなければなりません。そこで、三浦前長官にコースを御教示いただき、さらにこれからのコーチをお願いして、一生懸命走り出したところです。

幸い前長官の適切なコーチと文化庁の皆さんの周到な配慮のお蔭で、何とか転ばずに走っています。いつまでも転ばないだけのランナーでは、大切な職責を果すことはできません。

早く、自分なりにコースを見定めていかなければと、走りながら自問自答しているところですので、よろしくお願いいたします。

わが国では、物質的豊かさがある程度達成されて、今や心の豊かさ、精神的充実感を求める動きが、大きな流れになってきているように思えます。各地での美術館、博物館など文化施設の整備、カルチャー・センターなどの盛況、各種文化事業、文化活動の活発化、各種ニューメディアの浸透などは、この流れの広がりと大きさを示しているようです。

このような流れにどう対応し、国民の期待にこたえていくかということが、今、文化庁が問われている最大の課題ではないかと思えます。

その意味で、三浦前長官の提唱された国民文化祭を成功させ、軌道に乗せることは、当面、一番大切な具体的目標です。皆様方の御支援、御協力を切にお願いする次第です。